



# もくじ

この絵じてんの特長と使いかた ..... 2

## 1 いのちをまもるって どんなこと??

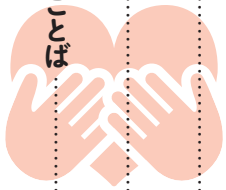
7

あんぜんってなんだろう ..... 8

まいにちのくらしとあんぜん ..... 10

しぜんとともにいきる ..... 12

●みのまわりのあんぜんにかんけいすることは ..... 14



## 2 きをつけよう こうじょうあんぜん

15

どうろにあるもの ..... 16

あんぜんなどうろのあるきかた ..... 18

## 3 みのまわりの じこやかじ

33

こうえんでたのしくあそぶには ..... 34

げんきにうんどうをするには ..... 36

プールでたのしくあそぶには ..... 38

かわやうみのきけん ..... 40

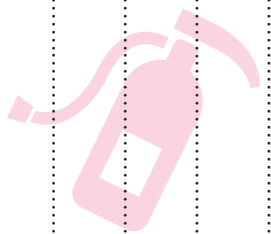
## 4 おおあめ、たいふう、 かみなり、おおゆき

61

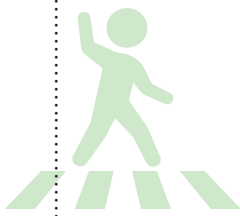
しゅうちゅうつうはどうしておきまるの? ..... 62

あめがたくさんふるとーまちー ..... 64

- やまやもりのきけん ..... 42
- エスカレーターにのるときのちゅうい ..... 44
- まちのなかでのちゅうい ..... 46
- えきをりようするときのちゅうい ..... 48
- いえのなかのきけん ..... 50
- かじをふせぐ ..... 52
- かじになってしまったら ..... 54
- かじからにげる ..... 56



- みのまわりのじこにかんけいすることは ① ..... 58
- みのまわりのじこにかんけいすることは ② ..... 59
- みのまわりのじこにかんけいすることは ③ ..... 60



おうだんほどうのわたりかた ..... 20

しんごうきのやくそく ..... 22

くるまにちゅういする ..... 24

じてんしゃののりかたとルール ..... 26

じてんしゃではしるときちゅうい ..... 28

くるまにのるときのちゅうい ..... 30

●いろいろなどうろひょうしき ..... 32

- あめがたくさんふるとーやまー ..... 66
- おおあめにちゅういする ..... 68
- たいふうはどうしておきるの? ..... 70
- たいふうがくるとどうなるの? ..... 72
- たいふうにそなえる ..... 74
- かみなりはどうしておきるの? ..... 76
- かみなりからみをまもる ..... 78
- おおゆきがふるとどうなるの? ..... 80
- おおゆきがつもったら ..... 82
- たつまきは どうして おきるの? ..... 84
- たつまきからみをまもる ..... 86
- あめ、かぜ、ゆき、かみなりにかんけいすることは ① ..... 88
- あめ、かぜ、ゆき、かみなりにかんけいすることは ② ..... 89
- あめ、かぜ、ゆき、かみなりにかんけいすることは ③ ..... 90



5 じしん、つなみ、かざんのふんか

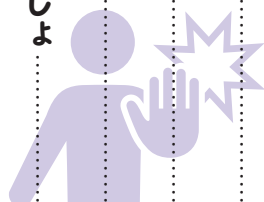
じしんはどうしておきるの?.....92  
 ゆれをかんじたらどうしたらいい?—いえ—94  
 ゆれをかんじたらどうしたらいい?—そと—96  
 ゆれをかんじたらどうしたらいい?—まち—98  
 ゆれがおさまったら.....100  
 ようちえんやほいくえん、がつこうで102  
 じしんがきたら.....102  
 じしんにそなえる.....104  
 つなみはどうしておきるの?.....106  
 つなみがきたらどうする?.....108  
 ようちえんやほいくえん、がつこうで110  
 つなみがきたら.....110  
 かざんのふんかからみをももる.....112  
 さいがいこそなえる—ひなんようぐのじゅんぴ—114  
 いえのまわりやひなんばしょをみておこう116  
 さいがいのときのれんらくのしかた.....118  
 ひなんくんれんでれんしゅうしよう.....120



- しぜんさいがいかんけいすることは①.....122
- しぜんさいがいかんけいすることは②.....123
- しぜんさいがいかんけいすることは③.....124

6 はんざいからみをももろう

そとでひとにこえをかけられたら126  
 くるまからこえをかけられたら128  
 まいごになったら.....130  
 そとでトイレにはいるとき132  
 まちのなかのきけんなばしょ134  
 こうえんのなかのきけんなばしょ136  
 エレベーターやかいだんでのちゅうい138  
 ひとりでいえにはいるとき140  
 るすばんをしているときのちゅうい142  
 じぶんのみをももるそなえ144  
 みをももるどうぐやばしょをしろう146  
 インターネットをあんぜんにつかおう148



さくいん.....巻末



# この絵じてんの特長と使いかた

## タイトル

その見開きで取り上げたテーマを示しています。

## リード文

テーマに関連して、大人が子どもに伝えたいことや子どもと一緒に起こらないことを子どもに語りかける内容です。



## ようちえんやほいくえん、がっこうでじしんがきたら

えんやがっこうにいるときでもじしんはくるかもしれないね。おちついてみをまもるにはどうしたらいいのかな。



えんやがっこうにいるとき、じしんがおきたら、まずはおちついてせんせいのいうとおりにしましょう。せんせいがいけないときも、あわてずにつくえのしたにもぐったり、あたまをかかえてみをかがめたりして、じしんがおさまるのをま待ちましょう。

きょうつのなかにいるとき

たなからはなれる  
たながたおれてしたじきに  
なることがあるので、  
たなからはなれよう。

まどからはなれる  
ガラスがわれることが  
あるので、まどからはなれよう。

まどガラスのはへんや、  
しょうめいきなどか  
おちてくるかもしれない。  
つくえのしたにもぐったり、  
つくえのあしをもも、  
ゆれがおさまるのをま待ち。

たいいくかんにいりるとき

まどガラスやバスケットボールの  
ゴールのしたからはなれて  
みをかがめてあたまをまもり、  
ゆれがおさまるのをま待ち。



こっしやの  
まどガラスがわれたり、  
かへがこわれたりすることが  
あるので、こっしやの  
まんなかにあつまろう。



ゆれがおさまらないうちひなをするときは

こっしややたいいくかんなどの  
たてもものなかにいるときは、  
ゆれがおさまってから  
こっしやにでましょう。  
いどうするときは、ヘルメットや  
ぼうさいずきんであたまをまもり、  
ひとをおしたり、はしったりせず、  
ひなんしましょう。



## おうちの かたへ

地震が起きた時は、どのような状況でも、「物が落ちてくるとな」に「倒れこまない」移動して、「倒れこまない」場所に素早く身を寄せて安全を確保することが大切です。園や学校の廊下や階段で地震にあった場合、近くの教室の机の下に隠れるか、窓ガラスやロッカーから離れて揺れがおさまるのを待ちます。また、体育館で

は、照明器具やバスケットボールのゴールの落下などには十分に気をつけましょう。学校や園の中でも、必ず先生が子どもに近くにいるとは限らないため、地震が起きた時、子どもも自分で考え行動できるように、日頃から家族で話をしておくことが大切です。

## おうちのかたへ

各テーマの内容について、本文で説明できなかった事柄の補足や、防災や防犯を実践するためのヒントなど、大人向けの情報をまとめました。

## 防災や防犯に関する ことばを紹介

各章の本文に出てきた用語や、各章のテーマに関係することばの意味を、イラストとともに解説しています。

**あめ、かぜ、ゆき、かみなりにかんけいすることば①**

**あめ、かぜ、ゆき、かみなりにかんけいすることば②**

## 4

見開き単位の構成でどこからでも読める

1テーマ1見開きで構成しているため、子どもが興味を持ったどのテーマからでも読むことができます。

## 3

本文はすべてひらがな・カタカナ

幼児の「読んでみたい」という気持ちに配慮されるよう、子ども向けの本文はすべてひらがな・カタカナで表記しています。

## 2

絵本感覚で読める  
わかりやすいイラスト

イラストをメインに構成しているため、防災・防犯などのテーマに初めて触れる子どもも、絵を見て理解することができ

## 1

交通安全から、  
防災、防犯まで、  
6つの章に分けて紹介

交通安全、身のまわりの事故や火事、自然災害（大雨、台風、雷、大雪、竜巻、地震、津波、火山の噴火）や犯罪から身を守る方法など、安全、防災、防犯のさまざまな事柄について取り上げています。







# あんぜんって なんだらう

ようちえんやほいくえん、  
がっこうにかよいながら、まいにち  
げんきにすごすためにはどんなことに  
きをつけたらいいのかな。

けがをしたりあぶないめに  
あつたりすることなく

まいにちをすごせたら

どんなにしあわせなことでしょう。

あんぜんにまいにちをすごすには

どうしたらよいのでしょうか。

じてんしゃのりかたの  
ルールをまもる



あそんでいるとちゅうでも  
きゅうけいしてみずをのむ



ルールをきちんとももつたり  
まわりにきをつけたりすることは、  
じぶんやともだちの  
あんぜんにやくだちます。  
ちいさなちゅういが  
おおきなじこを  
ふせぐこともあるのです。

でかけるまえに  
てんきよほうをみて  
てんきにちゅういする



くるまに  
きをつけてあるく



うみやかわであそぶときは  
おとなといっしょにい



あんぜんのために  
じぶんができることは  
なんなのか  
かんがえてみましょう。

## おうちの かたへ

子どもたちの周りには常に危険が存在し、時に事故が発生し、  
重大な怪我につながることもあります。子どもたちを守ることは  
もちろん、他の人の命を守るために、事件や事故を予防でき  
ている状況が安全と呼べるのです。しかし、注意して行動して  
いても、怪我をすることもあります。そんな時にも適切に対処

し、被害を最小限にすることも安全の一つの姿です。守ってく  
れる大人が、いつもそばにいないとは限らないため、子どもが自  
ら自分の命を守らなければならない場面もあります。子どもた  
ち自身に、安全とは何か、どのように安全を実現すればよいか  
を学んでほしいと思います。





# じてんしゃの のりかたとルール

じてんしゃにのってとおくまで  
でかけるのはわくわくするね。  
じてんしゃでどうろをはしるときに  
きをつけることをしているかな。

じてんしゃではしると  
あるくよりも

スピードがでるので、  
きをつけていないと  
あぶないめに

あうこともあります。  
また、ほかのひとに  
けがをさせてしまうかも  
しれません。

あんぜんにのるために、  
のるまえのじゅんびや  
はしるばしょについて  
しっておきましょう。

## のるまえのじゅんび

ころんだときに  
あたまをまもってくれるので  
ヘルメットをかぶろう。

タイヤにくうきが  
はいつているかどうか  
たしかめる。  
サドルはあしが  
じめんにつく  
たかさにしよう。

うごきやすいふくをきよう。  
ながいスカートなどは  
タイヤにまきこまれる  
かもしれない。



ブレーキが  
きくかどうか  
たしかめる。  
ライトがつくかどうか  
たしかめる。

## じてんしゃがはしるばしょ

こどもはじてんしゃにのっていても  
ほどう(16ページ)をはしってよ。



おうだんほうどうをとおつて  
どうろをわたるときには  
かならずじてんしゃから  
おりて、じてんしゃを  
おしながらわたろう。

## じてんしゃのためのとおりみち

じてんしゃのための  
とくべつなとおりみちがどうろの  
はしにつくられていることが  
あります。

そのとおりみちがあるときには  
かならずそこをとおりましょう。



## おうちのかたへ

道路交通法では、自転車は軽車両に含まれ、車と同じように  
車道をはしることになっていますが、交通量が多い場合や車道を  
走ると危険な場合、また13歳未満の子どもは、歩道を走行でき  
ます。ただし、歩道を走る時は歩行者優先のため、歩道の車道  
側を走り、歩行者の通行を妨げないようにしましょう。横断歩

道に自転車横断帯がある場合は乗ったまま渡ることができま  
す。また、自転車は定期点検が必要です。ブレーキに不具合は  
ないか、タイヤに空気は入っているかなど、子どもと一緒に点  
検しましょう。そして、転倒した場合にそなえて、必ずヘルメッ  
トを着用して走行させましょう。





# しゅうちゅうつうつは どうしておきるの??

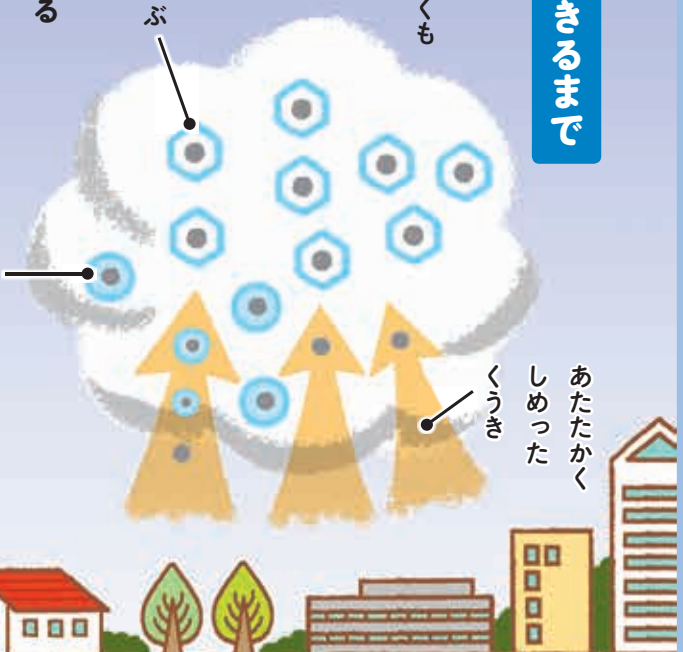
きゆうにあたりがくらくらなって つよいあめがふりだした。くろくてぶあつくものなかでは なにがおきているのかな。

しゅうちゅうつうつ(88ページ)とは、

かぎられたばしょで、  
みじかいじかんでふる  
おおあめのことです。  
おおあめをふらせるのは、  
あたたかくしめった  
くうきによってつくられる  
せきらんうんという  
おおきなくもです。

## しゅうちゅうつうつがおきるまで

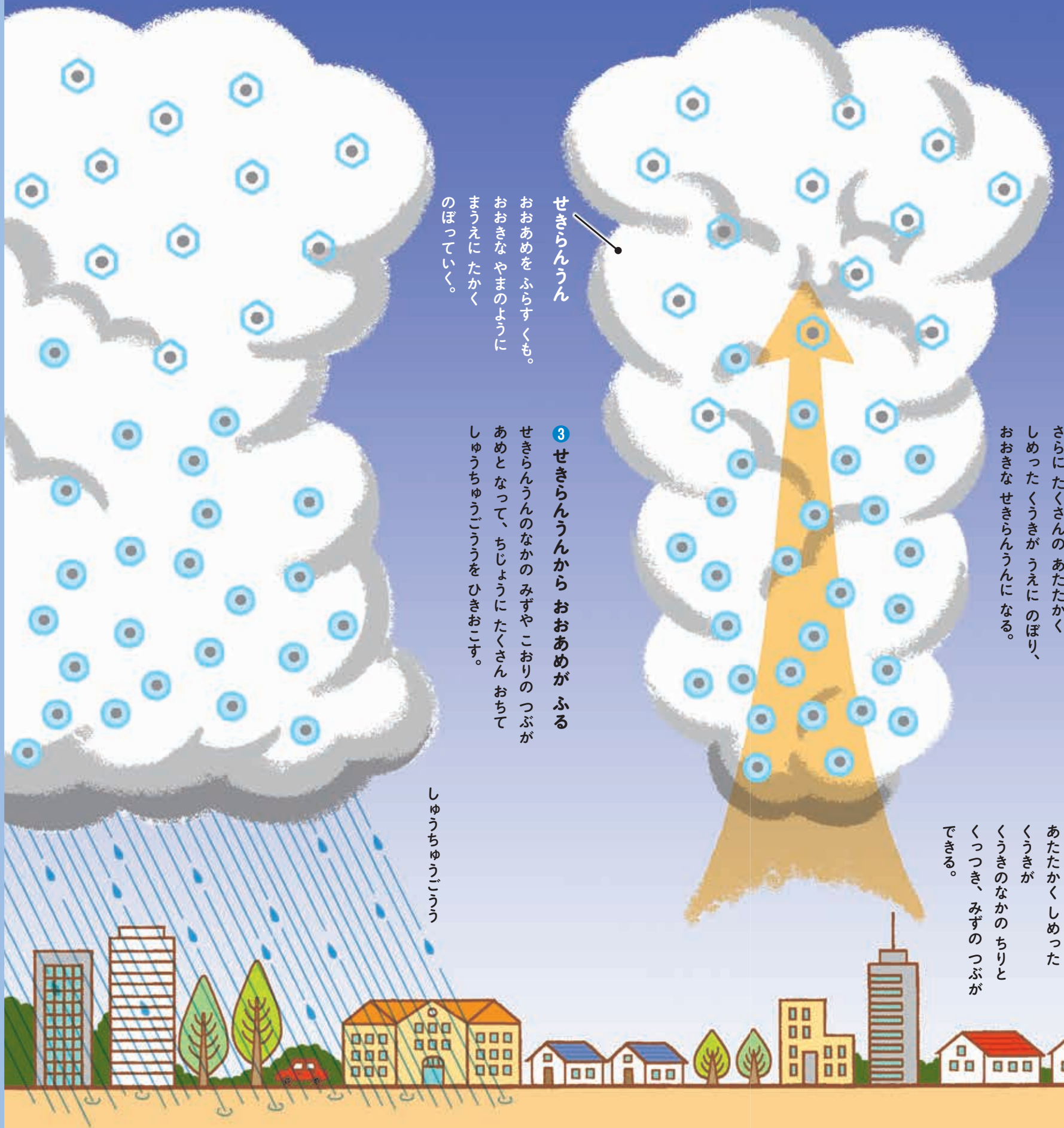
- 1 くもができる  
あたたかくしめった  
くうきがのぼり、  
そのうえのほうでひやされて  
ちいさなみずやこおりの  
つぶになり、くもができる。
- 2 せきらんうんにせいちようする  
そのうえのほうのくうきがつめたいと、  
さらにたくさんのあたたかく  
しめったくうきがうえにのぼり、  
おおきなせきらんうんになる。



あたたかくしめったくうき  
あたたかくしめった  
くうきが  
あたたかくしめった  
くうきが  
あたたかくしめった  
くうきが

せきらんうん  
おおあめをふらすくも。  
おおきなやまのように  
まっすぐにたかく  
のぼっていく。

- 3 せきらんうんからおおあめがふる  
せきらんうんのなかのみずやこおりのつぶが  
あめとなって、ちじょうにたくさんおちて  
しゅうちゅうつうつをひきおこす。



## うちの かたへ

集中豪雨とは、ある一定の狭い地域に短時間で集中的に降る強い雨のことです。たくさん積乱雲が同じ場所で次々と発生し、発達することによって起きます。  
一方、一つの積乱雲の発達によって、数十分間にごく狭い範囲で降る強い雨のことを「局地的大雨(88ページ)」といいます。

す。局地的大雨は、予測が難しく、突然起きるため、「ゲリラ豪雨」ともいわれています。  
都市部では、夏、コンクリートの建物や舗装されたアスファルトの路面から出る熱によって上昇気流が発生し、ゲリラ豪雨が起きやすいと考えられています。



# しぜんさいがいにかんけいすることば②

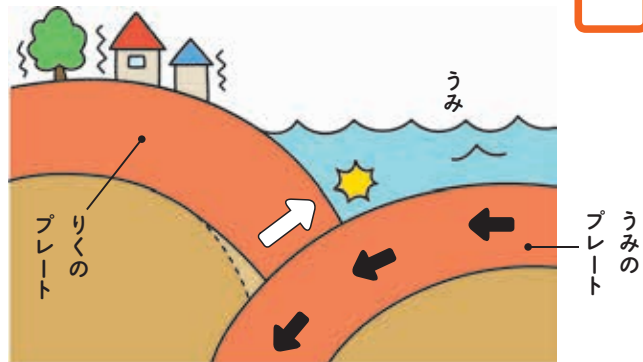
## かつたんそうがたじしん

じめんのしたの  
いわのいたが  
ずれることによって、  
おきるじしん。  
いつか、ずれるかもしれない  
ばしょを  
「かつたんそう」という。  
にほんにはたくさん  
かつたんそうがある。



## かいこうがたじしん

うみのそこにある  
おおきないわの  
いた(プレート)が  
りくのプレートを  
ひきずりこむこと  
おきるじしん。  
「プレートきょうかいじしん」  
ともいう。



## えきじょうか げんじょう

じしんのゆれによって、  
みずをふくんだすなの  
じめんから、ちかのみずが  
しみでること。  
いえがかたむくこともある。



## よしん

おおきなじしんが  
おきたあとにおきる  
すこしいさなじしん。  
なんかいもおきるが、  
すこしずつかいすうがへる。



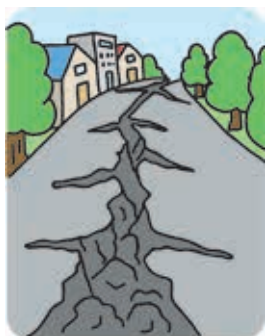
## きんきゅう じしんそくほう

じしんがおきたすぐあと、  
しんげんからゆれが  
やってくるまえに、  
きけんをすばやく  
しらせるおしらせ。  
スマートフォンや  
テレビなどからなされる。



## じわれ

じしんによってじめんに  
われめやびがはいること。



# しぜんさいがいにかんけいすることば①

## じしんのつよさ

「マグニチュード」と「しんど」で  
あらわすことができる。

## マグニチュード

じしんのおおきを  
あらわすすうじ。

## しんど

そのばしょのゆれのつよさを  
あらわすすうじ。  
10だんかいにわけられている。

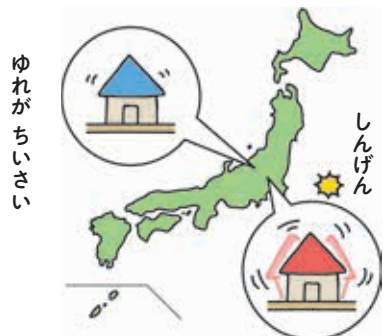


しんど0	ゆれを かんじない。
しんど1	たてもものなかで しずかにしているとき、 ゆれを かんじる ひとが いる。
しんど2	たてもものなかで しずかにしているとき、 おおくの ひとが ゆれを かんじる。
しんど3	たてもものなかに いる ひとの ほとんどが ゆれを かんじる。
しんど4	ほとんどの ひとが おどろく。 ものが たおれる こともある。
しんど5じゃく	おおくの ひとが こわいと かんじる。 たなの しょっきなどが おちることが ある。
しんど5きょう	おおくの ひとが ものにつかまらないと あるくことが むずかしい。 かぐが たおれる こともある。
しんど6じゃく	たっていることが むずかしい。 まどガラスや かべが こわれたり、 いえがかたむいたりすることが ある。
しんど6きょう	はわないうごけない。 いえがかたむいたり、たおれたりする。 じわれや じすべりなども おきる。
しんど7	てっきんの ビルでも たおれるものがある。

## しんげん

いちばんさいしょに  
じしんがおきたばしょ。  
ふつうは、しんげんに  
ちかいほどゆれがおおき。

ゆれがおおき



## ごじさいがい

さいしょにおきたさいがい  
もとになっておきる  
べつごさいがいのこと。  
ごうじょうによって  
おきるどしやさいがいや、  
じしんによっておきる  
つなみ、かじ、じわれなどが  
にじさいがいにあたる。





# みをまもるどろぐや ばしよをしろうぐや

こわいめにあったときに  
やくにたつどろぐやばしよを  
しっていたらこころづよいね。  
いくつしっているかな。

いつどんなところでこわいめに  
あうかはだれにもわかりません。  
じぶんをまもるため、  
たすけになるどろぐの  
つかいかたをしり、  
もちあるきましよう。  
まもってくれるばしよを、  
かぞくといっしょにかくにんして  
おくこともたいせつです。

かばんのベルトなど  
すぐつかうことができて、  
みえやすいところにつけよう。  
つかいかたもれんしゅうしておこう。

●ホイッスル  
ふくとたかいおとがでて、  
まわりのひとに  
きけんをしらせる。

## みをまもるどろぐ

●ぼうはんブザー  
おおきな  
おとをだして  
まわりのひとに  
きけんをしらせる。



おとがちゃんとでるかどうか、  
いえでかぞくといっしょに  
とききたしかめておこう。



## みをまもるばしよ

●こども  
110ばんのいえ  
もしものときにげこめば、  
まもってくれて、けいさつや  
かぞくやがつこうに  
れんらくしてくれる。  
コンビニエンスストアや  
えき、ガソリンスタンド、  
おみせにもある。



## ●こどもきんきゅう つうほうそうち

どろろやこうえんにたつていて  
ボタンをおせば  
おおきなおとがなり、  
あぶないことがおきているのを  
まわりにしらせてくれる。  
また、インターホンで  
おまわりさんと  
はなすこともできる。



## ●こうばん

おまわりさんがいつも  
いるばしよなので  
たすけてくれる。



## ●こうしゅうでんわ

おかねがなくても  
じゆわきをとって  
「1」「1」「0」とおせば  
おまわりさんに  
でんわがつながる。  
あかいボタンがあるときは  
それをおしてから  
「1」「1」「0」をおそう。



## おうちの かたへ

防犯ブザーはすぐに使える場所につけ、操作の練習もかねて  
音が出るかどうか定期的にチェックしましょう。子どもが現在  
いる位置を確認できるGPS機能のついた子ども用の携帯電話  
を持たせることも一案です。持ち込みを禁止している学校もあ  
りますので、あらかじめ確認しておきましょう。

名称は地域などによって異なりますが「子ども110番の家」  
というものがあり、その場所は個人宅であったりコンビニで  
あったりします。自宅や学校・園の周囲を親子で歩き、そとい  
う施設や交番の位置を確認してみましょう。公衆電話の緊急通  
報の使い方も教えておくとういでしょう。